

朝の礼拝

聖書 コヘレトの言葉 9章 11節 (旧約聖書 1031 頁)

太陽の下、私は振り返って見た。  
足の速い者のために競走があるのでもなく  
勇士のために戦いがあるのでもない。  
知恵ある者のためにパンがあるのでもなく  
聡明な者のために富があるのでもなく  
知者のために恵みがあるのでもない。  
時と偶然は彼らすべてに臨む。

### 時と偶然

確かに足の速い人が必ずしも競争に勝つわけではありません。転んでしまうこともあります。強い人が戦いに勝つわけではないし、知識や知恵があっても飢える人、貧しい人、恵まれない人もいます。コヘレトは「時と偶然は彼らすべてに臨む」と言っています。

私たちは運が良かった悪かった、それは宿命だからと言います。しかしコヘレトは、それを「時と偶然」と言っています。「時」とは何時何分、何分でという予定の時ではありません。ですから予定していたことができた、できなかったという結果の話でもありません。

冒頭に「私は振り返って見た」とありました。「再び見た」「身をめぐらせて見た」とも訳されています。今、起きた、起きていることにどんな目的があるのか、あれこれ心を働かせるという意味です。目標や結果は通過点で、大切なのは目的だと言っています。

どんな目的のために時が与えられたのか、偶然に起こったことには結果の良し悪し以上に、私にとって、私たちにとって、何が最も大切で、必要なことなのかを知るチャンスがあります。善悪、幸不幸を凌駕して、今を生きる目的が与えられています。

(しばらく黙想しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたはすべてには時があると言われました。しかしわたしたちには時を見極めることはできません。ただあなたは永遠を思う心、あなたを思う心をわたしたちに与えてくださいました。どうか泣く人と共に泣き、喜ぶ人と共に喜び、今を共に生きる人に祝福を与えてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン